

1

私の母国について
ご紹介いたします。
主な産業は農業で…
…………ぺらぺら
…………ぺらぺら



1 「日本語が上手になりましたね」と言われたら、何と答えていますか。「ありがとうございます」と言いますか。「いいえ、まだまだです」と言いますか。

「どのぐらい日本語が上手になりたいですか」と聞いたなら、みなさんは、「私は日本語がぺらぺらになりたいです」と答えますか。「日本語がぺらぺら」は、日本人みたいに日本語を話すことです。「ぺらぺら」は、外国語を上手に話すときに使います。

友達は日本に来て、10年ですから、日本人みたいに話します。そのときに、「私の友達は、日本語がぺらぺらです」と言います。

2

ぺらぺら



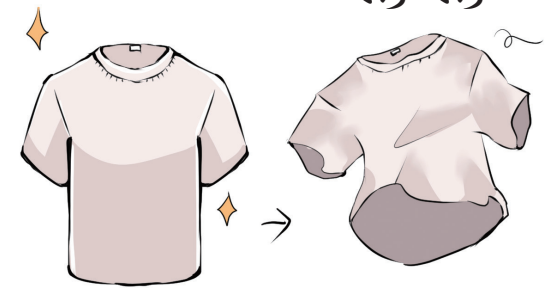
2 「ぺらぺら」は上手に話すときに使いますが、外国語を上手に話すときだけではありません。たくさんおしゃべりするときも、「ぺらぺら」と言います。友達と集まって、おしゃべりします。何でも話します。たくさん話します。

でも、秘密やプライベートな話は、たくさんの人に話してほしくありません。ですから、そのときは、「この話はぺらぺら話さないでくださいね」と言います。「ぺらぺら」は、たくさん話すという意味だけではありません。誰にでも話すという意味もあります。

3 最後の「ぺらぺら」は話すことではありません。Tシャツや紙などがとても薄いときに使

3

ぺらぺら



います。3年ぐらい着ているTシャツはたくさん洗濯したので、だんだん薄くなりました。薄いものは「ぺらぺら」と言うことができます。「このTシャツはぺらぺらです」と言います。紙や板なども使うことができます。「ぺらぺらの紙はすぐ破れる」のように使います。

日本語では、「ぺらぺら」のように様子について言葉で言ったり、書いたりします。音や声を言葉で言ったり、書いたりすることもできます。ドアをノックする音は「トントン」、犬のなき声は「ワンワン」です。みなさんも「トントン」「ワンワン」などを使ってみませんか。そして、日本語がぺらぺらになりましょう。